

trivia5 美唄に捕虜収容所があった？

昭和 25 年 6 月に函館にあった函館俘虜（ふりょ＝捕虜）収容所本所が美唄町（当時）に移転し、連合軍捕虜 396 人が三井美唄炭鉱の高台に新設された施設に収容され、終戦とともに収容所は閉鎖。全員が帰国しました。

第 2 次世界大戦で日本軍の捕虜となった連合軍の軍人、軍属などの人たちが、戦況の悪化により、函館から空知の炭鉱地帯に移送されたもので、美唄のほか、芦別や赤平、歌志内にも分所がおかれました。〔美唄市百年史第 3 章第 3 節より〕

表41 函館俘虜収容所収容人員表（昭和20年 6 月以降）

種 別	所 在 地	20年 6 月 30日現在	20年 8 月 15日現在	移送前収容地	
				道 内	海 外
本 所	美 唄 町	396	396	396	
第一分所	芦 別 町	509	509	511	
第二分所	赤 平 町	281	281	141	140
第三分所	歌志内町	310	311	※ 1	310
第四分所	芦 別 町	83	100	50	50
計		1,579	1,597	1,099	500

※印の 1 人は前収容地不明。移送前収容地で海外とあるのは、釜山において引き渡しを受けたもの。第一分所の 2 人減は移送後死亡。「俘虜情報局統計表」「太平洋戦争下内地俘収茶園調査表」、北炭『七十年史』『芦別市史』『歌志内市史』により作成。

表42 国籍別・階級別人員表（昭和20年 8 月15日現在）

国籍 階級等	本 所 （ 美 唄 ）				函 館 俘 虜 収 容 所 計			
	士 官	准士官 以 下	非軍人	計	士 官	准士官 以 下	非軍人	計
ア メ リ カ	3	31	16	50	51	409	45	505
イ ギ リ ス	1	271	11	283	11	779	38	828
オ ラ ン ダ		53		53	4	204		208
オーストラリア	2	6		8	47	6		53
エ ス ト ニ ア			1	1			1	1
カ ナ ダ		1		1		1		1
南 ア フ リ カ							1	1
計	6	362	28	396	113	1,399	85	1,597

「太平洋戦争下日本内地俘収茶園調査表」による。

上記 2 表は『美唄市百年史』より